

# 自転車の安全利用を促進するための条例を10月から施行します

## 乗車中のヘルメット着用が市条例でも努力義務になります

道路交通法の改正により、令和5年4月1日から、全ての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されました。常陸大宮市では、より地域の実情に即した安全施策を推進するため、この条例でヘルメット着用の努力義務を定めました。

そのほか、市、利用者、保護者、市内事業所、学校それぞれの責務を明確化しました。適正な自転車整備や保険加入の推進についても定めています。

県北地域では初となる、自転車運転中のヘルメット着用の努力義務などを定めた「自転車の安全利用に関する条例」を令和8年10月1日に施行します。学生を中心に、市民の自転車利用があることから、事故防止や事故被害の軽減に向けた取り組みを強化します。

## 「自転車安全利用の日」と題し月1回の啓発活動を実施します

ヘルメットの着用を重点的に推進するため、市では「自転車安全利用の日」として月に1回程度、常陸大宮駅などでの啓発活動、学校を訪問して児童生徒への呼びかけを行う予定です。



## まちなできごと

### 5/24 県子連「優良子ども会等表彰」市内の子ども会と功労者が受賞

茨城県子ども会育成連合会が開催した「優良子ども会等表彰式」で、常陸大宮市子ども会育成連絡協議会監事の和知昌弘さんが茨城県知事表彰、御前山地域のおひさま子ども会が茨城県子ども会育成連合会理事長表彰を受賞しました。

この表彰は顕著な活動をしている子ども会や子ども会成功労者に贈られるもので、子ども会活動を通して子どもたちの健全育成に多大なる貢献を行ってきたことが、今回の表彰につながりました。



▲（左から）おひさま子ども会 舛井陸翔さん、小林凜人さん、常陸大宮市子ども会育成連絡協議会 和知昌弘監事

### 5/29 15年ぶりに復活した地域の特色ある授業 緒川小でシイタケの植え付け体験

緒川小学校の3～5年生がシイタケ栽培を体験する授業が行われました。この授業は、震災による原発事故の影響で中断していましたが、安全性が確認され、復活に至りました。

地元のシイタケ専門農家を講師に迎え、児童たちは原木に「種駒」を木槌で打ち込む「菌打ち」を体験しました。参加した児童からは「木が重くて驚いたけど楽しかった」との感想がありました。今回菌を打ち込んだシイタケは来年秋に収穫予定です。



▲児童たちは、細い穴に丁寧に種駒を打ち込んでいました。

### 5/29,30 久慈川沿いの竹林整備などに取り組む「茨城セブンの森」協定締結

5月29日、「茨城セブンの森整備及び保全活動」に関する協定締結式を行いました。この協定は、久慈川流域や周辺竹林の整備・保全を目的として、久慈川水防竹林を守る会、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、常陸大宮市、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所、公益財団法人リバーフロント研究所の5者で締結しました。

「茨城セブンの森」として整備事業を行うのは久慈岡地区にある竹林約5万㎡で、今後10年間にわたり、地域住民と協働で活動していきます。具体的には、毎年1万㎡の竹林整備、複数年にわたっての竹林バランスを考慮した伐採を予定しています。

協定締結翌日の30日には、第1回の「茨城セブンの森」活動が行われました。竹林整備には、(株)セブン-イレブン・ジャパンの職員をはじめとした100人を超えるボランティアが参加しました。

また、小学生向けの久慈川水域自然観察会も開催され、親子連れをはじめとする参加者が豊かな自然に触れながら学びを深めました。



▲協定式では、各団体の代表者が協定書にサインしました。



▲第1回の竹林整備では、(株)セブン-イレブン・ジャパンの職員のみならず、家族で参加するスタッフもいました。

### 5/31 5市村合同で開催 久慈川水系連合水防訓練

梅雨や台風の出水期を前に、辰ノ口橋下流の久慈川河川敷で「久慈川水系連合水防訓練」を実施しました。この訓練は、毎年5月に、常陸大宮市・東海村・那珂市・常陸太田市・日立市の5市村の水防団員(消防団員)が合同で行っています。常陸大宮市が訓練会場となるのは、平成27年以来10年ぶりです。

訓練では、砂を入れた土のう袋の口の結び方や、土のうの積み方などを実技を通して学び、水害時の対応を共有しました。



▲堤防に水が染み込み、漏れ出した場合の対処法である、土のうを半月形に積み上げる「月の輪工法」の実践も行いました。

### 6/2 30年を超えて駅利用者を支えた常陸大宮駅の旧跨線橋を解体

平成4年から常陸大宮駅の東西を結んできた旧跨線橋が解体されました。30年を超えて駅利用者や周辺住民を支えた歴史に幕を閉じました。

解体では、通路部分の端をガスで溶断したあと、市内ではなかなか見ることのない大きなクレーン車が旧跨線橋を持ち上げ、およそ10分で、地面に降ろされました。

今後は3月24日に供用開始した自由通路が、駅の東西を繋いでいきます。



▲解体時には、市の歴史的瞬間を見届けようと、周辺住民が駅に集まりました。



6/13 今年は子どもたちが神輿<sup>みこし</sup>を作り担ぐ  
上小瀬祇園祭

緒川地域の立野神社の祭りである上小瀬祇園祭が開催され、国道293号をはじめとした神社周辺を神輿と山車が巡行しました。この祭りは、疫病退散・五穀豊穡を願い、毎年、6月の第2土曜日に開催されています。

今回は、毎年恒例の縦横無尽に暴れ回る大人神輿とあわせて、緒川小学校の児童たちが手作りした神輿も一緒に渡り歩きました。地域には、大人の担ぎ手と子どもたちの賑やかな声が響きました。



▲緒川小学校全校児童や保護者が加わり、例年以上の盛り上がりを見せました。

6/20 辰ノ口区のタケノコや有機野菜を採る  
首都圏在住者向け収穫体験ツアー

(一社)全国農協観光協会が主催する野菜収穫体験ツアーが開催され、首都圏に住む26人が参加しました。参加者はDRAGON BAMBOOの会場でもある辰ノ口区竹林のタケノコ、道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜体験農園の西洋野菜、(株)JA 常陸アグリサポートが栽培する有機ジャガイモを収穫しました。参加者からは「初めてのタケノコ収穫でも簡単に採れた」「収穫体験を通して地域の方と交流ができて、また来たいと思った」との感想がありました。

6/17 駐車場つきで便利に  
御前山ダムカヌー発着所整備

御前山ダムに新たなカヌー発着所を整備しました。市では、令和4年度からダム湖面でのカヌーなどを実施しています。これまで、参加者は御前山ダム公園に集合し、湖畔へ移動していましたが、利便性向上のため、駐車場隣接の発着所を整備し、披露式を行いました。6月19日には、この発着所を初めて使い、御前山小学校の児童がカヌーを体験しました。

今年は7月下旬から10月上旬の間、この発着所を会場として体験イベントを実施します。



▲鈴木市長は、地域住民からの「ダム湖面にボートを浮かべたい」の声から現在に至った経緯や今後の展望について述べました。



▲(株)JA 常陸アグリサポートの畑では有機ジャガイモを袋いっぱい収穫していました。

6/26 人面付土器「いずみ」に興味津々  
上野小で泉坂下遺跡を学ぶ授業

上野小学校で、同学校区内にある泉坂下遺跡について3年生が学ぶ特別授業が開催されました。

泉坂下遺跡出土で、国指定重要文化財である人面付土器「いずみ」のレプリカが教室に置かれ、地元在住の瀬谷邦男さんが講師となり、弥生時代の暮らしの様子などについて説明しました。

児童たちからは、いずみの「耳たぶに穴が3つあるのはなぜ?」「赤い点がついているのは何?」など、活発な質問が出ていました。



▲いずみに近づくと、児童は皆「何が見えるかな?」と中をのぞいていました。

// スポーツ大会結果 //

第41回常陸大宮市民ゴルフ大会

開催日：令和8年5月19日  
主催：常陸大宮市ゴルフ連盟

会場：那珂カントリー倶楽部  
参加人数：96人

【大会結果】

|     |       |           |       |
|-----|-------|-----------|-------|
| 優勝  | 小泉 正美 | 男子ベストグロス賞 | 長山 和義 |
| 第2位 | 栗原 裕美 | 女子ベストグロス賞 | 栗原 裕美 |
| 第3位 | 菊池 三郎 |           |       |



▲優勝した小泉正美さん

善意<sup>善意</sup>をありがとう



株式会社瑞穂農場 様 牛肉 90kg (市内小中学校へ)



常陸大宮ライオンズクラブ 様 10万円 (奨学基金へ)